

まきば通信

第39号

《目次》	頁
《巻頭言》	1
《わたしの愛唱讃美歌》	2
《「まきば」トピックス1》	3
《特集 協力教会紹介 南山教会》	4～5
《「まきば」トピックス2》	6～7
《編集後記》	8



「まきば」の歩みを 振り返って

元 愛知老人コミュニティーセンター

運営委員 **真木 芳子**

(鳴海教会信徒)



高齢になって教会を去るとき、牧師館を出なければいけないが、行き場がない牧師がいたことに心痛められた戸田伊助牧師（初代理事長）がホーム建設を熱く訴えられ、私も心動かされた者の一人でした。これは全国教会婦人会連合集会の席上、一信徒の呼びかけに賛同し“にじのいえ”設立に繋がった経緯と重なります。

いざ現実となると、財政、運営面での見通しがネックとなり、常置委員会は毎回紛糾し、多くの助言により、まず満室にすることが必須であるとの見解に至りました。「牧師ばかりではぶつかり合うから駄目だ」、戸田牧師のコメントに笑いを呼びながら、募集対象を信徒や地域住民に広げることになりました。

1993年度「まきば総会」とささやかれる中、建設は正式に決議されました。やがてセンター委員会によって本格的な準備がなされ、ついに1997年に「愛知老人コミュニティーセンターシルバーホームまきば」が開設されたのでした。

何故か理事の一人として任命され、「まきば通信」編集委員会のメンバーとしても加わらせて頂くことになりました。今後中部教区が負うべき重大な責任を思いつつも、日頃モットーとしていた「御心のままにお用いください。あとは神様にお任せします」とお引き受けした次第です。

多くの不安を抱えた「まきば」の船出でしたが、

その歩みは早く、信仰生活ができる環境と、盛りだくさんのプログラムが生み出されていきました。ホームから炊き出し活動に参加下さる方、隠退教師による「神学研究会」、入居者による趣味の会も活発に行われ、「まきば」の生活を楽しんでおられる様子を見聞きし大変嬉しく思いました。

特に、全員が集まれる礼拝と集会室のある介護専用棟を建てることが出来たことにより、入居者に終の棲家として安心安全をもたらす道筋が与えられたのです。

歳月が流れ運営も順調に進められ、ビジネス誌で何と3年連続県第1位に輝いたことは、社会にも認められてきたあかしとなる出来事でした。

ここに至るまで、教区と理事会（現センター運営委員会）の見解の相違により理事総辞職、経営赤字、コロナ禍という大きな試練の中でも主が共にいて、道を備えてくださいました。

特筆すべきこととして、教区、教団、諸教会の皆さまが祈りをもって支えてくださったことに加え、歴代の理事長、施設長、職員の果された役割がどんなに大きなものであったかを思われます。

前年度をもって任務を終え、「まきば」の歩みを振り返りながら、背後にある神の隠されたドラマを静かに味わっております。長きにわたるお支えと、多くの温かい交わりに心からの感謝をもって。

わたしの愛唱讃美歌

その9

ご入居者の愛唱讃美歌を紹介するシリーズの第9回目です。
好きな讃美歌にまつわる思い出を伺ってまいります。

奥田 英子 様
(尾張一宮教会)

讃美歌 243番(1954年版)

ああ主のひとみ、まなざしよ、
うたがいまどう トマスにも、
み傷しめして 「信ぜよ」と、
宣らすはたれぞ 主ならずや。
(3節)



水野 寿美代 様
(カトリック瀬戸教会)

典礼聖歌 388番

(讃美歌21-57番)

ガリラヤの風かおる丘で
ひとびとに話された
めぐみのみことばを、
わたしにも聞かせてください。



15~16才の頃でした。わずか半年の間に兄と姉と祖母を立て続けに亡くして落ち込んでいました。そんな時に、尊敬していた人から教会へ行くことを勧められ、井上良彦先生が開拓伝道をされていた尾張一宮教会へ行ってみました。その時、受付にいたのが、後に夫になる人の妹さんで、「よくいらっしやいました」と明るく迎え入れてくれたのでホッとしました。当時は学生も多く、すぐに馴染むことが出来ました。今でも「受付の対応は大切だな」と思っています。三軒長屋の一軒で、畳に座って礼拝をしていました。聖書研究会などにも出席し、1956年のクリスマスに受洗しました。

南インドを旅行した時、トマスが殉教したと伝えられる教会を訪ねました。トマスやペテロ以上に弱い私でも許され愛されている事が実感出来て感謝でした。娘も(高一の時)この歌を知って信仰告白を決心した様です。それまでは「クリスチャンになったらこうあるべきだ!」と思い込んでいたようです。「失敗しても弱くても、神様は許して下さいさるんだ」ということが、この歌から実感できたようです。「まきば」では金曜日の礼拝・聖書集会や日曜日のYouTube礼拝など、部屋を出て階段を下りるだけで出席できるので、まるで教会堂の中で生活している様で、心の糧を週に二回も頂いています。目の前に愛知国際病院があり、裏の牧場の畑には向日葵、コスモス、ネモフィラなど、四季の花畑があり、テレビでも紹介されています。今は、感謝の気持ちでいっぱいの日々を送っています。

父方の家系がカトリック信徒で、わかっているだけでも5代前からはクリスチャンという家庭で育ちました。父は、ドイツ人の神父様から洗礼を受けてペトロ磐石(いわお)というクリスチャンネームを持っていました。幼い時には、近くに教会がありませんでしたが、久留米市街に引っ越してからは教会へ通うようになりました。4歳で洗礼を受けた頃のことは記憶にありませんが、中学2年生の時に堅信を受けた時のことはよく覚えています。教会学校は友達が多くて楽しい所で、よくお祈りに行きました。22歳の頃に新しい聖歌集ができて、「マリヤ様のこころ」や「神とともにいまして」など好きな曲がたくさん載っていました。特にこの「ガリラヤの風かおる丘で」が好きで、よく口ずさんでいました。27歳で結婚して瀬戸市に来ました。夫は南山大学の学生の時に受洗していてクリスチャン同士の結婚でした。瀬戸の家は高台にあって、窓を開けると街並が一望できます。洗濯をしていると爽やかな風が吹いてきて、思わず「ガリラヤの風かおる丘で~♪」と口ずさみます。

息子が「まきば」の近隣施設において、島しず子牧師の司式で結婚式を挙げた時、夫と2人で「まきば」に友人を訪ねたのがきっかけで、私達も将来はここに入ろうと決めました。入居前に一人になってしまいましたが、ここが気に入っていたので入居しました。金曜日の礼拝や聖書の集いにも出席しています。カトリック信徒もプロテスタント信徒も一緒に祈ることができるし、共通する讃美歌も多いし、共に聖餐も受けて、喜びの内に信仰生活を守っています。

「信徒の友」9月号に掲載されました!

日本キリスト教団出版局より毎月発行されている「信徒の友」の特集ページ「施設に入所するとき—高齢者施設に入所した私の証し—」にて、「まきば」に入居していただくきっかけや、入居されてからの信仰生活について取り上げられました。また、カラーページで職員募集の広告を掲載しております。



内装工事を行いました (礼拝室ワックス・本館床張り替え)

本館26年、新館16年がそれぞれ経過し、共用部の床の汚れなどが課題でしたが、今年度、本館共用部の床の張り替え工事と、新館は礼拝室のみですが、汚れたワックスを剥離し、新たにワックスがけの作業を行う事ができました。



特別企画

協力教会紹介

住み慣れた地を離れ 新たな信仰生活と交わり



「まきば」玄関前にて、南山教会からの送迎バスを待つ入居者様たち。



日本基督教団

みなみやま

南山



あっという間に南山教会へ到着！
いつも送迎して下さる南山教会のボランティアの方に感謝です。

ご家族様の送迎によって、南山教会の対面での礼拝に出席される入居者様もお見えになります。



客員として



ご自分で南山教会の送迎車に乗り降りできる方は、南山教会で行われる対面での礼拝に出席しておられます。



教会

転会・転入会者として



南山教会で「英語で聖書を読む会」を企画され、ご奉仕されている入居者様もお見えになります。

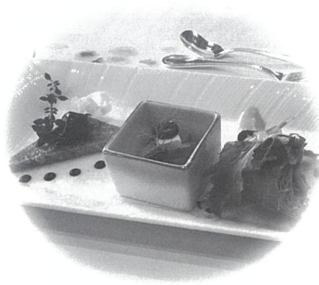
まきばトピックス

このページでは、日本基督教団愛知老人コミュニティーセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や近隣での出来事を紹介するコーナーです。

行楽(足助の街並み散策)



街並みを散策中



美味しい昼食をいただきました



喫茶店に行ってきました

普段中々外出できない入居者様と一緒に「珈食房るばん」白土店へ



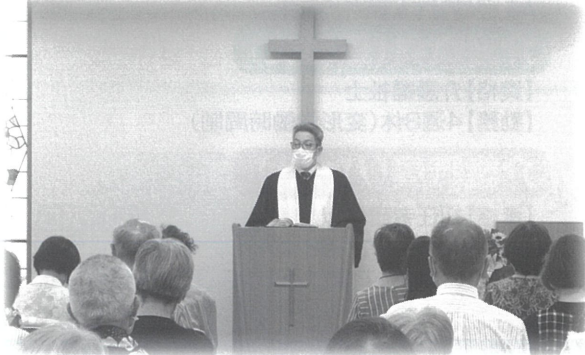
ケーキセット



普段とは違う雰囲気笑顔が溢れます

ボランティア感謝会を行いました

今年度もボランティア感謝会を実施することができました。昨年に引き続き、いつも「まきば」を陰で支えて下さっている方々へ、感謝の思いを、「『まきば』が感謝し隊」(職員・入居者様混合)の合唱と共に、お伝えすることができました。



ボランティア感謝礼拝の写真



花束贈呈



「『まきば』が感謝し隊」の合唱

■愛知老人コミュニティーセンターへの献金報告

献金者芳名(2022年4月1日～2023年3月31日)		
教会福祉献金	匿名 1名様	1,000,000 円
	小 計	金額 1,000,000 円
センター維持献金	愛知西地区様、磯部真知子様、岡崎教会泉の会様、尾関明様、尾関幸子様、春日井教会様、小林光様、十字ヶ丘復活苑様、高嶺きぬ代様、中京教会様、中部学院大学様、知立伝道所様、土屋美恵子様、仲田水尾子様、名古屋学院様、名古屋新生教会様、広路教会様、南山教会様、村上宏様「礼拝」での献金14口、「聖書の集い」での献金18口	311,400 円
	合 計	金額 1,311,400 円

皆様のお支えに感謝します。

献金
振込先

①三菱 UFJ銀行 日進支店
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
運営委員長 下村 徹嗣
普通口座 1162658

②郵便振込
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
振替番号 00870-4-29934

スタッフ急募

牧場の緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、
人格を大切に守る介護を実践してみませんか？
信仰生活の支援も大切な仕事の一つです。



看護職員(夜間)

週1日程度から。
曜日に限定がある方は相談に応じます。
【資格】看護師、准看護師
【勤務】18:00～翌8:00(休憩4時間あり)
【手当】精勤手当あり

介護職員(正職員)

【資格】介護福祉士
【勤務】4週8休(変形労働時間制)

介護職員(パート)

【資格】初任者研修以上
【勤務】常勤として4週8休(変形労働時間制)で働ける方大歓迎
※正職員への登用制度あり



●交通費全額支給 ※詳細はお電話ください。0561-74-5548(担当:施設長)

入居予約受付中

見学や体験入居もできます(要予約)



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home

まきば

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで教会もあります。

キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」などの定例会が毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会からバスが迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究祈禱会」などにも自由に出席することができます。

交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

類型及び表示事項

施設の類型/介護付有料老人ホーム 居室の権利形態/利用権方式
介護保険/愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件/60才以上で入居時自立及び要支援の方(要介護の方も、ご相談に応じます)
居室区分/個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制/2:1以上

●お問い合わせ先 シルバーホーム「まきば」 TEL.0561-74-5548

編集後記

本号の巻頭言は、シルバーホーム「まきば」の創立期から今日に至るまで深く関わってくださった真木芳子姉にお願いしました。「まきば」の歩みを正確に振り返ってくださった真木姉の今後のお働きの上に主の豊かな祝福がありますよう祈ってやみません。日本基督教団発行の「信徒の友」9月号に掲載された「まきば」入居者の大木正子姉は、信仰生活を守る上で「まきば」の環境がいかにふさわしいかを分かりやすく語っておられます。コロナ禍の中でも、キリスト教信仰の砦として「まきば」が在ったことが、本号の紙面から十分に伝わってきます。「まきば通信」を手にした皆様のご健康とご健闘を祈りつつ、主にありて (大島)



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
まきば通信 第39号 発行日 2023年10月20日
発行人 下村 徹嗣

〒470-0111 日進市米野木町南山987-88
TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561
ホームページ <https://silverhome-makiba.jp>
E-mail info@silverhome-makiba.jp